記者発表資料

雄物川改修100周年　みんなの雄物川

平成29年5月19日
国　土　交　通　省
秋田河川国道事務所

平成２９年度「雄物川総合水防演習」を開催します

「平成２９年度雄物川総合水防演習」を秋田市をはじめとする雄物川流域８市町村、秋田県、東北地方整備局が主催し下記のとおり開催します。

なお、今般の「雄物川総合水防演習」には、水防団や関係市町、自衛隊外関係機関、自主防災会、高校生など総勢１，０００名が演習に参加して行います。

記

■日　　時：**平成２９年５月２８日（日）８：３０～１２：００**
■場　　所：**秋田市茨島地先　雄物川右岸（秋田大橋上流）**
■実施内容：別添プログラムのとおり
■そ の 他：「防災展」も開催します。
　　９：００～１３：００　見学自由

※水防演習の詳細は、以下のＨＰをご覧いただくか、雄物川水防で検索してください。
ＨＰアドレス
http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/suibouensyu/index.html

（記者発表先）秋田県政記者会

問い合わせ先
■国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所 秋田市山王一丁目１０－２９ 電話　０１８－８２３－４１６７（代表） 副所長（河川）　泉谷　敏広（内線２０４） 河川管理課長　　佐藤　浩志（内線３３１）

平成２９年５月１９日

報道機関各位

「平成２９年度雄物川総合水防演習」取材のご案内

国土交通省では、毎年５月を「水防月間」と定め、水防活動の広報と水防意識の向上に努めております。東北地方においては、東北地方整備局と東北６県ならびに河川流域市町村及び水防団体等からなる実行委員会を組織し、東北の代表水系にて毎年、「総合水防演習」を実施しております。

総合水防演習は東北６県持ち回りで、今年は秋田県が担当となっており５月２８日（日）に、秋田県秋田市茨島地先の雄物川右岸河川敷（秋田大橋上流）を会場に実施することとしております。

開催にあたっては、流域８市町村の水防団による水防工法の演習、関係機関や地域住民、地元高校生等の参加協力による救助訓練・避難訓練や、災害時協定業者等による物資輸送訓練、自衛隊・警察・消防・日本赤十字等による救助・救出・救護訓練等の実施に加え、東北６県代表による水防技術競技大会も行われます。

その他、水防及び防災への意識向上を図ることを目的とした「防災展」を同時開催することとしております。

つきましては、「雄物川総合水防演習」をご取材頂きたくご案内申し上げます。

当日は報道受付を設置し、資料をお渡しいたしますので、演習会場内にある報道受付にお立ち寄り下さい。
受付のうえ自社の「報道用」腕章等を着用し取材いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
なお、車でお越しの方は、駐車場係員の誘導により一般駐車場をご利用下さい。

高めよう！防災意識
5月は水防月間です

自然は、瞬時にその姿を変えてしまう。



明治43年9月4日の雄物川洪水
（秋田市楢山での氾濫）の様子


昭和62年8月洪水
（成瀬橋付近での木流し工の様子）

平成29年度

見学自由

雄物川総合水防演習

日時 **2017.5.28** 日曜日 8:30-12:00

場所 **秋田市茨島地先**
雄物川右岸 秋田大橋上流



主催 **雄物川流域8市町村、秋田県、国土交通省東北地方整備局**
↳ 秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

一人一人が、水防災意識を高めよう！
連携・団結・技術を発揮して地域を守れ！

第一部 洪水対応訓練・情報収集訓練

普段間近では見られない！雄物川流域8市町村の水防団による水防工法訓練です。

主なプログラム
- 災害対策本部設置
- 河川巡視（ヘリコプターみちのく号、河川パトロールカー）
- 情報提供・リエゾン派遣
- 水防工法
  - ＊月の輪工
  - ＊釜段工
  - ＊川倉工
  - ＊シート張工
  - ＊木流し工
  - ＊積土のう工・改良積土のう工
- 緊急速報メールの配信
- 応急給食訓練
- 簡易水防訓練



Photo:月の輪工

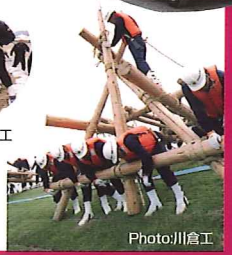



Photo:川倉工

第二部 市民・関係機関による連携訓練

災害を想定した実践さながらの訓練をぜひご覧下さい。

主なプログラム
- 住民による避難訓練
- テックフォースの出動
- ドローンによる被災状況調査
- 被災状況調査（国土交通省ヘリコプターみちのく号）
- 救助・救出訓練
- 救護訓練
- 応急復旧訓練
- 排水作業訓練
- 支援物資輸送訓練


Photo:みちのく号


Photo:排水ポンプ車

第一部 同時開催 東北水防技術競技大会

東北6県代表による水防工法技術競技大会です。

実施水防工法 シート張工・月の輪工



防災知識をわかりやすく展示！

同時開催 見学自由（無料） **防災展** 9:00～13:00

http://www.thr.mlit.go.jp/akita/index.html

秋田河川国道事務所のホームページはこちら ▶

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
〒010-0951 秋田県秋田市山王1丁目10−29 TEL：018-823-4167（代表）

みんなの雄物川

雄物川は、大正6年（1917年）から改修が始まって以来、今年で100年を迎えます。

雄物川改修100周年パネル展
水防演習会場にて同時開催

平成29年度 雄物川総合水防演習 プログラム

※ 表示時間は目安の時刻ですので、前後する場合がございます。

演習想定水位（水位観測所）		時刻	進行内容	関係機関
	集合・人員報告	8:15	集合・整列・人員報告	演習副本部長：秋田県建設部長
			黙祷	秋田県消防協会会長
	【開会式】			
		8:30	開会宣言	演習副本部長：秋田県建設部長
			国旗掲揚	秋田市水防団
			国土交通大臣挨拶	国土交通大臣
			秋田県知事挨拶	秋田県知事
			演習本部長訓示	演習本部長：東北地方整備局長
			水防団宣言	総指揮者：秋田市水防団長
			来賓紹介	
	【第一部】			
	洪水対応訓練	9:00	演習想定発表	秋田地方気象台、国土交通省、秋田県、秋田市
	情報収集訓練		災害対策本部設置	
			河川巡視	秋田河川国道事務所
			リエゾン派遣	秋田市長、秋田河川国道事務所長
			玉川ダム洪水調節	仙北市長、玉川ダム管理所長
被災箇所発見			被災箇所発見・水防団出動	秋田市消防本部
	漏水防止	9:18	月の輪工、釜段工	第1中隊、第2中隊
	【東北水防技術競技大会】		月の輪工（同時実施）	青森県三沢市消防団、岩手県奥州市消防団、宮城県登米市消防団、秋田県北秋田市消防団、山形県大石田町消防団、福島県須賀川市消防団
			簡易水防	大住地区自主防災連絡協議会
	決壊防止・崩壊防止	9:40	川倉工、木流し工、シート張工	第3中隊、第4中隊、第5中隊
	【東北水防技術競技大会】		シート張工（同時実施）	
			訓練視察と激励（水防工法体験）	
			水位情報の提供	東北地方整備局、秋田市
			エリアメールの配信、防災メールの配信	東北地方整備局、防災ネット秋田
			応急給食訓練	日本赤十字社 秋田県支部 赤十字奉仕団
	越水防止	10:06	積土のう工、改良積土のう工	第6中隊、第7中隊
			水防工法体験	秋田工業高等学校、金足農業高等学校、秋田県農協共済
	【第二部】			
	関係機関による連携訓練	10:27	水位状況の提供	秋田市長、秋田河川国道事務所長
			防災メールの配信	防災ネット秋田
		10:30	テックフォース派遣要請	秋田県知事、東北地方整備局長
			避難訓練	大住地区自主防災連絡協議会、グループホーム・つばき苑
堤防決壊			決壊情報の提供	秋田市長、秋田河川国道事務所長
			整備局ヘリ「みちのく号」による調査	東北地方整備局
			ドローンによる被災状況調査	東北測量設計協会
			秋田県警ヘリ「やまどり号」による偵察	秋田県警察本部
			自衛隊派遣要請	秋田市長、秋田県知事、陸上自衛隊
			現地対策拠点設置	国土交通省、県、市、消防、警察、自衛隊　等
		10:59	救助・救出訓練	秋田県警察本部、秋田県防災航空隊、秋田市消防本部、陸上自衛隊
			救護訓練	日本赤十字社 秋田県支部
		11:26	応急復旧訓練	秋田県建設業協会
			排水作業訓練	秋田河川国道事務所
		11:32	支援物資輸送訓練	秋田県トラック協会、秋田市長、大住地区自主防災連絡協議会
			災害対策本部 解散	
	【閉会式】			
		11:37	閉会式整列	
			東北水防技術競技大会表彰式	東北水防技術競技大会委員長：東北地方整備局長
			講評	東北地方整備局河川部長
			秋田市長挨拶	秋田市長
			国旗降納	秋田市水防団
		12:00	閉会宣言	演習副本部長：秋田県建設部長
			終了	



一緒に地域のために活動してみませんか！？

消防団員（水防団員）募集中！

消防団に関する詳しい情報は http://www.fdma.go.jp/syobodan　消防団　検索

消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関です。

「消防団」ってどんなことをするの？

平常時の活動：●防火啓発活動 ●救命講習会 ●住宅防火訪問

災害時の活動：●消火活動 ●救助活動 ●水防活動

※消防団に関するお問い合わせは、各市町村の担当課までお問い合わせください。

お問い合わせ　国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
〒010-0951 秋田県秋田市山王1丁目10−29
TEL:018-823-4167
http://www.thr.mlit.go.jp/akita/index.html

雄物川総合水防演習　検索



高めよう！防災意識 5月は水防月間です

昭和62年8月洪水（成瀬橋付近での木流し工の様子）

自然は、瞬時にその姿を変えてしまう。

一人一人が、水防災意識を高めよう！

連携・団結・技術を発揮して地域を守れ！

Photo:㈲無明舎出版社提供

明治43年9月4日の雄物川洪水（秋田市楢山での氾濫）の様子

平成29年度

雄物川総合水防演習

プログラム

日時　2017.5.28　日曜日　8:30−12:00

場所　秋田市茨島地先　雄物川右岸　秋田大橋上流

主催　雄物川流域8市町村、秋田県、国土交通省東北地方整備局
→ 秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

参加機関　秋田地方気象台、陸上自衛隊 第21普通科連隊、陸上自衛隊 第9飛行隊、総務省 東北総合通信局、国土地理院 東北地方測量部、秋田県警察本部、一般財団法人秋田県消防協会、秋田市消防本部、横手市消防本部、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部、日本赤十字社 秋田県支部、大曲商工会議所、秋田大学 付属地域防災力研究センター、秋田工業高等専門学校、秋田県立秋田工業高等学校、秋田県立金足農業高等学校、大住地区自主防災連絡協議会、グループホーム・つばき苑、一般社団法人秋田県県土整備コンサルタンツ協会、一般社団法人秋田県建設業協会、公益社団法人秋田県トラック協会、一般社団法人東北測量設計協会、一般社団法人東北地域づくり協会、耐候性大型土のう協会、小型船舶関連事業協議会、一般社団法人リバーテクノ研究会、東北電力㈱ 秋田支店、東日本電信電話㈱ 秋田支店、㈱NTTドコモ、ソフトバンク㈱、KDDI㈱ 東北総支社、秋田県農協共済㈱、原田物産㈱、生活協同組合コープあきた、秋田県北秋田市消防団、青森県三沢市消防団、岩手県奥州市消防団、宮城県登米市消防団、山形県大石田町消防団、福島県須賀川市消防団

後援　秋田魁新報社、北羽新報社、㈱北鹿新聞社、週刊アキタ、㈱News Bank、秋田インターネット新聞、㈲秋田民報社、朝日新聞 秋田総局、毎日新聞 秋田支局、読売新聞 秋田支局、河北新報社、産経新聞社 秋田支局、日本経済新聞社 秋田支局、時事通信社 秋田支局、共同通信社 秋田支局、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ、㈱エフエムゆーとぴあ、FMはなび、ACB秋田コミュニティー放送、日刊建設工業新聞社 東北支社、日刊建設産業新聞社、㈱日刊建設通信新聞社、日刊工業新聞社 東北・北海道総局、㈱日本建設新聞社 宮城総局、㈱秋田建設工業新聞社、㈱建設新聞社、秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、NEXCO東日本 東北支社 秋田管理事務所、東日本旅客鉄道㈱ 秋田支社、全国水防管理団体連合会、公益社団法人全国防災協会、公益社団法人日本河川協会、東北直轄河川治水期成同盟会連合会、東北ダム事業促進連絡協議会、一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本建設機械施工協会 東北支部、一般社団法人建設電気技術協会、一般社団法人東北河川管理技術研究会、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、一般財団法人河川情報センター　（順不同）

雄物川改修100周年　みんなの雄物川

テント割当表

A	演習本部席・来賓席
B	水防団席
C	競技会参加水防団席
D	一般席
E	訓練参加者席

市町村旗

シート張工

積土のう工

川倉工

木流し工

東北水防技術競技大会

月の輪工

釜段工

工法体験

モニター

工法体験

改良積土のう工

簡易水防訓練

整列場所

車両待機所A

人員待機所A

電源

映像中継ブース

見学者案内所

仮設トイレ

国旗

演台

県旗 市旗 省旗 水防旗

避難訓練

人員待機所B

車両待機所B

応急給食訓練

B A C E D E

給水所

来賓受付

来賓受付

報道受付

給水所

車イストイレ

仮設トイレ

見学者案内所

防災展【参加機関】

① 国土交通省　東北地方整備局
- 秋田河川国道事務所
- 湯沢河川国道事務所
- 成瀬ダム工事事務所
- 玉川ダム管理所

② 国土交通省　技術センター
③ 国土交通省　秋田港湾事務所
④ 原田物産㈱
⑤ (一社)東北測量設計協会
(一社)秋田県県土整備コンサルタンツ協会
⑥ 日本赤十字社　秋田県支部
⑦ 生活協同組合コープあきた
⑧ 国土地理院　東北地方測量部
⑨ 小型船舶関連事業協議会
⑩ 耐候性大型土のう協会
⑪ (一社)秋田県建設業協会
⑫ 秋田地方気象台
⑬ 秋田工業高等専門学校
⑭ 金足農業高校
⑮ 秋田大学　付属地域防災力研究センター
⑯ 陸上自衛隊
⑰ 東北電力㈱　秋田支店
⑱ (一社)リバーテクノ研究会
⑲ (一社)東北地域づくり協会
⑳ 東日本電信電話㈱　秋田支店
㉑ ㈱NTTドコモ
㉒ ソフトバンク㈱
㉓ KDDI㈱　東北総支社
㉔ 総務省　東北総合通信局
㉕ 秋田市消防本部
㉖ 秋田県警察

防災展

仮設トイレ

ドローン展示

車両展示

災害対策車展示

車両展示

車両展示

降雨体験装置

地震体験車

車両展示

救助・排水・復旧訓練　等

水難救助　等

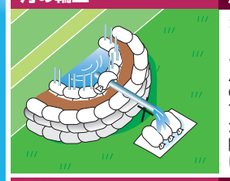
ヘリによる救助訓練

← 雄 物 川

N

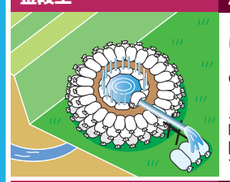
本日実施される水防工法について

月の輪工　漏水防止工



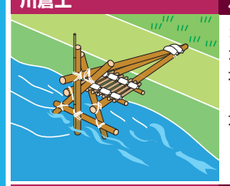
堤防の裏側などに漏水した水が噴き出している場合に、土のうを半月型に積んでいき、その中に水をためることで、水圧で漏水口が拡がるのを防ぎます。堤防に近い場所での漏水に用います。

釜段工　漏水防止工



堤防の近くの平場などに漏水した水が噴き出している場合に、漏水の噴出口を中心に土のうを積み上げて水を貯え、その水圧によって噴出をおさえます。堤防から少し離れた場所での漏水に用います。

川倉工　洗掘・崩壊防止工



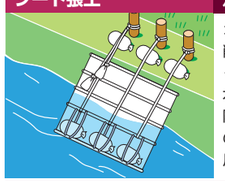
水の流れが急で、堤防が削られている場合に、水の流れをゆるやかにして、堤脚の洗掘の拡大を防ぎます。

木流し工　洗掘防止工



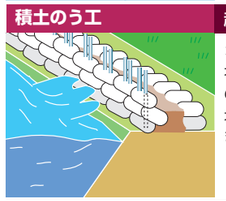
水の流れが急なとき、水の流れをゆるやかにして、堤防が崩れるのを防ぎます。
枝葉の多い木に土のうの重しをつけて使用します。

シート張工　洗掘・崩壊防止工



水の流れで、堤防が削り取れられるのを防ぐとともに、堤防への水の浸透を防ぎます。
防水シートの下部に土のうの重しをつけて使用します。

積土のう工　越水防止工



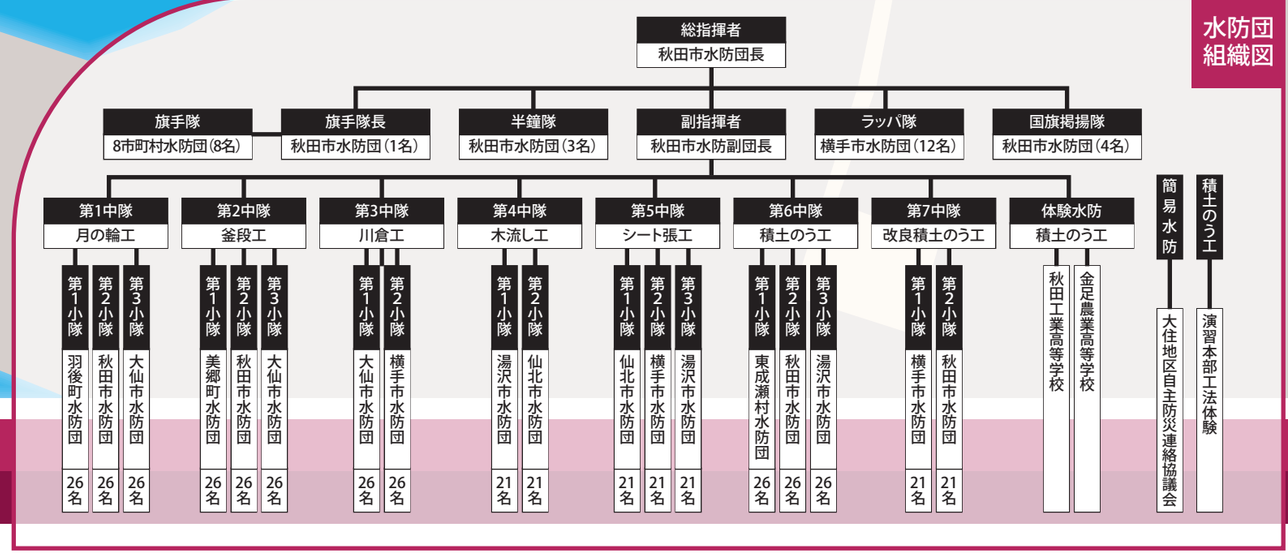
水が堤防を越えそうな場合に、堤防の上に土のうを積み、川の水が堤防を越えるのを防ぎます。

改良積土のう工　越水防止工



鋼杭と防水シートを使って、積土のう工法を改良・強化したものです。
川の水が堤防を越えるのを防ぎます。

水防団組織図



雄物川総合水防演習　会場配置図